



3師団だより

近畿2府4県の平和と安全を担う第3師団の広報紙

師団創立62周年・千僧駐屯地創設72周年記念行事

跳躍～地域とともに～



各種行事・訓練

師団創立62周年・千僧駐屯地創設72周年記念行事
師団ベスト戦士紹介

第3師団隊員紹介コーナー

師団戦士
我が部隊の新戦力
一隅を照らす
私の大切な物

みんなの架け橋

自衛隊和歌山地方協力本部

職場の豆知識

「嫉妬心」 著：ジョシュア



地域とともに 約14,000名の来場者を魅了



第3師団創立62周年・千僧駐屯地創設72周年記念行事



観閲官に対する栄誉礼

その他にも装備品展示や、各種アトラクション、太鼓・音楽演奏等が行われ、約1万4千名の来場者を魅了した。

来場された方からは「訓練展示が凝っていて、迫力もあり楽しかった」、「小さな子どもが楽しめる企画が多く来年もぜひ来たい」等の感想があり、記念行事は成功裡に幕を閉じた。

観閲式に続き行われた観閲行進において、師団隷下の13個部隊等が威風堂々の行進を披露し、部隊の精強性をアピールした。

また、3月に新たに発足した第3偵察戦闘大隊の16式機動戦闘車が初お披露目され、機能展示や戦闘訓練展示において高い機動性を披露した。

観閲式において佐藤陸将は、「我が国を取り巻く安全保障環境は、戦後最も厳しく複雑と言われる渦中にある。隊員諸官は、日々向上心を持って何時でも即動できる力を蓄えてもらいたい」と整列する隊員に式辞を述べ、ご来賓、来場された地域の皆様に対して、「今に即応し、将来に備え得る強靱な部隊」を育成し、期待に応えんと誓った。

師団（師団長 佐藤陸将）は、5月21日（日）、千僧駐屯地において、第3師団創立62周年・千僧駐屯地創設72周年記念行事を挙行了した。



観閲官 佐藤陸将



観閲部隊指揮官 末田陸将補



初お披露目の16式機動戦闘車(MCV)



巡 閲


師団記念行事「地域とともに歩む第3師団」イベントフォトギャラリー




第3特殊武器防護隊
(除染の訓練展示)



第3通信大隊
(部隊入場)



第3音楽隊
(MCV機能展示での演奏)



第37普通科連隊
(車両行進)



第3師団司令部付隊
(車両行進)



第3後方支援連隊
(車両行進)



第3偵察戦闘大隊
(MCV機能展示)



第3施設大隊
(車両行進)



第3高射特科大隊
(戦闘訓練展示)



第36普通科連隊
(戦闘訓練展示)



第3特科隊
(白鷺太鼓隊とFH70のコラボ)



第3飛行隊
(観閲飛行)

見て圧倒！触れて楽しむ♪ アトラクションショー（第7普通科連隊）



レンジャー展示



格闘訓練展示



手旗通信体験



師団記念行事「笑顔あふれる1日」イベントフォトギャラリー



師団集成太鼓隊の演武



第3音楽隊の演奏



装備品展示



体験試乗



レンジャー体験



ペーパークラフト・ぬり絵



ふれあい広場



MCVと一緒に記念撮影



精強・精鋭！令和4年度 師団ベスト戦士



体力検定 (女性)
(陸士の部)



第3特科隊
情報中隊

まつだ さら
松田 沙羅
陸士長

体力検定 (男性)
(陸士の部)



第3後方支援連隊
第1整備大隊 本部付隊

はしもと てっしん
橋本 哲心
陸士長

体力検定 (女性)
(准尉・陸曹の部)



第3通信大隊
第2中隊

ふくもと あやか
福本 彩花
3等陸曹

体力検定 (男性)
(准尉・陸曹の部)



2年連続

第3後方支援連隊
輸送隊

こいわ かずき
小岩 一樹
1等陸曹

令和4年度に師団の各部隊が実施した各種検定において、見事第1位の成績を収めた師団ベスト戦士を紹介します。



各個戦闘射撃



第37普通科連隊
第5中隊

なかやま れん
中山 練
陸士長

基本射撃
(陸士の部)



第36普通科連隊
第5中隊

いけだ よしき
池田 義喜
陸士長

基本射撃
(准尉・陸曹の部)



第36普通科連隊
第1中隊

うちだ よしひろ
内田 好宏
3等陸曹

なお、ベスト戦士に認定された7名の隊員は、師団最先任上級曹長から褒賞を受けます。

師団戦士

「仕事が面白くなりました」



第7普通科連隊第4中隊
3等陸曹 江口 弘尚

第7普通科連隊第4中隊に所属する江口 弘尚(えぐち ひろたか) 3曹へのインタビューです。

江口3曹は、平成30年3月に入隊し、部隊通信やレンジャー課程を修了し、3曹昇任後は新隊員教育隊の班長として後輩の育成に当たるなど、若手陸曹として活躍しています。

出身地、陸曹教育隊入校時期は。

A 京都府出身、第140期 令和4年1月入校です。

【陸曹教育隊入校間について】

A **印象に残っている訓練は。**

A 後期の総合訓練(防衛)です。期間を通して分隊長として指揮を執り、数多くの経験ができました。

入校間で特に学んだことは。

A 指示だけではなく、指揮下部隊を確実に掌握するために、現況の把握及び実行の監督が重要だと改めて認識しました。

陸曹になっての心境の変化は。

A 仕事の幅が増えたので、日々の業務にやりがいを感じるようになりました。

今後の部隊での目標は。

A 自分に足りない知識や技能を向上させることです。それが陸曹になって見えてきました。

陸曹を目指す後輩隊員に一言

A 陸曹になると仕事の幅が広がります。自分の能力を活かせる仕事が増え、やりがいを感じるようになるので頑張ってくださいませ。

我が部隊の新戦力

「感謝の気持ち」



第3施設大隊第1中隊
1等陸士 妹尾 茉奈

第3施設大隊第1中隊に所属する妹尾 茉奈(せのお まな) 1士へのインタビューです。

入隊時期、出身は。

A 令和4年4月、岡山県出身です。

入隊の動機は。

A 就職に迷っていた時に、自衛官である知人から話を聞き、部隊で活躍する姿に憧れ、入隊を決意しました。

新隊員教育での思い出は。

A 後期教育で実施した漕舟(そうしゅう)訓練です。厳しい訓練でしたが、班員と団結してゴール出来た喜びがとても印象に残っています。

現職務のやりがいは。

A 中隊の器材班員として、車両整備や演習場整備等、日々新しいことを学べることです。

現職務で苦労していることは。

A 3月に本部管理中隊から部内異動をしたばかりであるため、新しい知識・技能を習得することに苦労しています。

営内での生活は。

A 同期や先輩と和気あいあいと話したり、遊んだりして、毎日充実した楽しすぎる営内生活を送っています。

今後の目標は。

A 初級施設器材の特技を取得し、器材班員として中隊に貢献することです。

最後に一言

A 充実した環境で勤務できることに感謝し、これからも頑張ります。

一隅を照らす

「中隊を照らす」



第3特科隊第1中隊
3等陸曹 小池 光

第3特科隊第1中隊の小池 光(こいけ ひろ) 3曹を紹介します。小池3曹は、平成30年9月に中隊に配属され、令和4年7月に3等陸曹へと昇任し、現在操縦手として勤務しています。

小池3曹は、操縦手として、牽引時には全長約18mにもなる155mm榴弾砲(通称FH70)を安全に運行して、砲班長の確に補佐し、部隊の隊務運営に貢献しています。

また、前年度実施された隊の武装走競技会において、グループの副分隊長としてチームを牽引し、グループ最速タイムを叩き出し、隊の部で第1位を獲得しました。

更に、昨年度から陸曹候補生選抜試験受験者の指導部として、後輩隊員の育成にも取り組んでいます。特に、体力面の指導では、隊員の特性に合った弱点の克服方法を指導し、合格者の輩出に寄与しています。

努力を惜しまず、部隊のムードメーカーとして活躍する小池3曹は、第3特科隊を明るく照らす太陽のようであり、まさに「一隅を照らす」にふさわしい隊員です。

私の大切な物「祖母からの贈り物」



第36普通科連隊
重迫撃砲中隊

陸士長 市原 星河

今回は、第36普通科連隊重迫撃砲中隊の市原 星河(いちはら せいが) 士長から思い出の一品を紹介してもらいます。

私の思い出の一品は、祖母からの贈り物「腕時計」です。この腕時計は、陸上自衛官として頑張っていて欲しいという気持ちを込めて入隊祝いプレゼントしてくれたものです。時計の贈り物には、離れていても同じ時間が流れているという意味が込められています。

私は、陸上自衛隊に入隊するまでずっと大好きな祖母と一緒に暮らしていました。すでに祖母は80歳近い年齢となりました。今では、仕事中、腕時計を通じて時間を確認する度、毎日家事をして大変そうだった祖母を思い出し、「自分も頑張らなくてはいけない」と辛かった訓練も腕時計から勇気と元気をもらう事ができました。

大好きな祖母にはいつまでも元気でいて欲しいと思います。実家に帰省した際には、祖母に贈り物をして感謝の気持ちを伝えるとともに成長した自分の姿を見せ、喜ばせたいです。これからも、この腕時計とともに、様々な経験を心に刻んでいきたいと思っています。



